

平成 26 年度 社会福祉法人かみかわ福寿園
第 1 回 上川町特別養護老人ホーム 大雪荘 運営推進会議 議事録

日 時	平成 26 年 6 月 30 日 (月) 開会 午後 16 時 00 分 閉会 午後 16 時 55 分
場 所	大雪荘会議室
出 席 者	滝本 トミ子 委員 本田 政敏 委員 松岡 史枝 委員 渡辺 多賀志 委員 生駒 尚美 委員 前川 洋子 委員
欠 席 者	
事 務 局	西木 和義 理事長 谷越 一仁 施設長 野矢 裕司 事務長 落合 雅俊 生活相談員
議 事 次 第	開会あいさつ 社会福祉法人 かみかわ福寿園 理事長 西木 和義 1 自己紹介 2 運営推進会議についての説明 3 事業所の紹介および活動状況について 1) 施設の概要、等 2) 事業活動、等の状況報告 3) 質疑、要 4 意見・要望等 5 その他

開会あいさつ

社会福祉法人 かみかわ福寿園 理事長 西木 和義

時節柄ご多忙の中、お集まり頂きありがとうございます。

今年度より初めて運営推進会議といった組織を作り、本日の第 1 回目の会議に参集頂いた処であります。

従来、大雪荘は 50 床の特養を中心とし、ショートステイ事業を 7 床とデイサービス事業については小規模デイといった、定員は 20 名ですが平均 1 日 13 名程度の利用実績により認定を受け、実施している処であります。

その他利用は少ないですが、障がい者の福祉事業としてショートステイも実施しております。

たまたま今年度が 6 年に 1 度の特養、等に関する指定更新の年であり、4 月初日にそれが行われた処だが、法律の内容が一部改正となり、特養新館 20 床が地域密着型特養として新たに上川町から認可を受け、営業を開始致した処であります。

更に従来型 30 床の特養については、小規模特養と言う事で事業を行う事となり、特養が 2 分割されたという状況にあります。

地域密着型と言う事より、上川町に根差した施設の運営を致し、住民の福祉向上の為事業を展開していく事を目的とし、この運営推進委員を選任致し委員方の意見を聞きながら、経営をする様にといった内容であります。

本日参集を頂き、会議の中でそれらの内容を詳しく説明させて頂きたく思う次第であります。

これから本当に委員の皆様方にはお世話になろうかと思われるため、今後とも宜しくお願い申し上げ、開会のあいさつに代えさせて頂きます。

1 自己紹介

初回の会議という事もあるため配布した委員名簿に基づき各委員方並びに事務局より順次自己紹介を実施致した。

- | | | |
|------------|-------------|------------|
| ・渡辺 多賀志 委員 | 上川町保健福祉課長 | 上川町行政 |
| ・生駒 尚美 委員 | 地域包括支援センター長 | 地域包括支援センター |
| ・前川 洋子 委員 | 上川町民生委員協議会 | 地域の代表者 |
| ・滝本 トミ子 委員 | やわらぎ会 副会長 | 地域の代表者 |
| ・本田 政敏 委員 | つつじ苑 介護相談員 | 識見を有する者 |
| ・松岡 史枝 委員 | 大雪荘家族会役員 | 入居者の家族 |

2 運営推進会議についての説明

谷越施設長より資料「はじめに」を読み上げ説明致した。

次に資料「運営推進会議について」1 枚目については法人事業の沿革について、資料に基づき読み上げ説明致した。

資料 2 枚目について、資料「運営推進会議設置要綱」を読み上げ説明致した。

3 事業所の紹介および活動状況について

落合相談員より、別紙資料を読み上げ報告致させた。

4 ご意見、等

委員の皆さまよりご意見を賜る

渡辺 委員	まだ課長職について日が浅い所もあり、なかなか施設に足を運ぶ事も少ない処である。ただ地域交流の一環とした七夕盆踊りなど、施設と地域住民の繋がりがより強くなるために、今後も色々と協力していきたいと思う。
本田 委員	上川町の中では、現在ある介護施設の中でも一番最初に開設されたという処もあり、今までも長年の中で、昔から様々な先進的な取り組みをこの町で展開してきた所である。自分たちも色々参考にしたいと考える処である。 やはり入居者の事を考えていくことが第一であり、たとえ周囲の者がどう評価しようとも、入居者自身が充実した生活を送られている事が大事であり、つつじ苑としても、向かう方向性は同じであり、入居者の暮らしを支えていくのが大雪荘で、地域で生活する上でより健康的な暮らしが実現できる様に、医療と介護の双方を提供していくのがつつじ苑の役割と考えている。今後とも一人の入居者の支援に関し、色々やり取りが行われると思われるが、他の関係諸機関にも併せて宜しくお願い致します処である。
前川 委員	友人のお母さんが、2、3日大雪荘のショートステイを利用された。家に帰って来てからご本人より、「あそこにはたくさんの方の知り合いがいて楽しいから、また行きたい」と感想を述べられたと。利用された方々からこういった感想を聞かれるという事は、大雪荘が地域にとって本当に大事な施設の一つであると感じられる処である。私も将来身に何かあったら、大雪荘を利用したいと。
滝本 委員	私も、将来何かあったら大雪荘を利用したいかどうかを考えながら、色々説明を聞かせて頂いた。今後もこういった機会を重ねて、大雪荘の今まで見えなかった処も含め理解していこうと思うし、また自分も将来万が一のことがあったら、できれば大雪荘を利用したいと、以前から思っていた処である。
松岡 委員	大雪荘にはちょくちょくお邪魔していたのだが、改めて色々説明を聞かせてもらい、こんなに奥が深いのかと思った処である。 提案として、古布をよく募集されているが、その際今までは一般の町民に対してのみ募集を掛けている処だが、それ以外に町内の会社関係にも募集範囲を広げて発信したらどうかと。以外と長い間使われないタオル類があったり、会社の職員が声を掛け合って、会社単位で集めて頂けることもあろうかと思うので。一時期カレンダーもユニットで不足しているとの声も聞いたことがあった。そういったものも、会社等によっては使われずそのまま、と言う所もあると思うので、声を掛けてみるのも良いかと思われる。
谷越施設長	以上各委員からのご意見やご感想を頂き、委員からの提案事項についても、謝意し、今後の施設運営に反映していく事と致した。

5 その他

特になし。

閉会：16:55

記録：生活相談員 落合